



令和3年度
第12号

府中明郷学園だより



令和4年2月28日
府中市立府中明郷学園
文責 教頭 青山・行廣



学校教育目標 自主・協働・創造 ～社会に開かれた教育課程の推進により、自ら課題を見つけ、学び、行動する児童生徒の育成～

今年度も最後の3月を迎えます。あっという間ですね。4月1日から数え333日目、今年も新型コロナウイルスの猛威は止まることを知らず、体育祭は中止となり、6年研修旅行・8年修学旅行も行き先を変更、文化祭も規模を縮小しての開催となりました。CS活動やPTA活動も完全燃焼した、という実感は少なく、これまで築きあげてきた活動は、学校行事等と同様に形を変えたり規模を縮小したりしながら取り組んできたように思います。また、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置なども出され、学習活動も制限が加わる状況が続きました。

長期化するコロナ禍の中、「本質を見失わず、形を変える」取り組みを続けてきました。方法や手段が変わっても目的やねらいを見定め、「為すべきことを為す」視点で、保護者・地域の皆様と共に、知恵を出し合い協働しながら教育活動を進めてきました。文部科学大臣表彰は、その評価の一つと考えています。このように、児童生徒だけでなく、保護者や地域の皆様のご理解とご協力があったからこそ、実現できた取り組みや活動が多くあります。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。今後ともご理解・ご協力のほど、よろしくお祈りします。

さて、卒業証書授与式がいよいよ近づいてきました。何を、どのように学び、これからどのように生かしていくのか、考えてきました。自らの進路選択の際、今まではできたらいいな程度で見ていた夢を、具体的な目標としてきました。ですから私たち教職員は、卒業式は、卒業生が新たなキャリアを広げていくために新しいスタートラインに立って決意をする場と捉え、確かな一歩を踏み出してほしいと願っています。

第5回卒業証書授与式のご案内

3月10日(木)13:30～本校第1体育館にて予定しております卒業証書授与式につきまして、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、児童生徒の健康を第一に考える観点から、参加者等の制限や感染拡大の防止のために、次のことについてご留意いただきたいと思っております。趣旨をご理解いただき、ご協力お願い申し上げます。

1 参加者の制限について

参加者できる方は次の通りとします。

- ①卒業生
- ②保護者・家族(2名まで)
(当日、ご記憶ください)
- ③本校教職員
- ④来賓(祝辞・告示を述べられる方のみ)
- ⑤在校生(送辞を述べる児童生徒のみ)

2 参加者していただく方へのお願い

- ①咳エチケット、マスクの着用の推奨
- ②石鹸やアルコール消毒液による手洗い推奨
- ③発熱や風邪の症状がある方の参加自粛
- ④感染した際重症化に不安がある高齢者の方、基礎疾患のある方の参加の自粛



今後の予定

- 1日(火) 委員会・サポート活動、SC来校、安全点検
- 2日(水) 新入生・進級生物品販売(16:00～17:00)
- 3日(木) 校内授業研究会(5年)、卒業式リハーサル
- 7日(月) 公立高等学校入学者選抜(Ⅱ)1日目、9年ワックスがけ(9年生11:45下校)
- 8日(火) 公立高等学校入学者選抜(Ⅱ)2日目、9年ワックスがけ(9年生11:45下校)
- 9日(水) 卒業式準備(9年生13:30下校)、新入生と1年生の交流会
- 10日(木) 第5回卒業証書授与式(13:30開式)(1～8年生12:35下校)
- 11日(金) 本読堂、LinkS引継式(7・8年生)、部活動再開(6年生見学)、阿字和紙体験(3年生)
- 13日(日) i-project meeting(児童生徒会執行部有志)
- 14日(月) 6年生部活動体験日、前期町別会
- 15日(火) 公立高等学校入学者選抜(Ⅰ)(Ⅱ)合格者発表
- 16日(水) イングリッシュデイ(1～6年)、第4回学校運営協議会、6年生部活動体験日
- 17日(木) VR職場体験(7年生)
- 18日(金) PTA新旧常任委員会
- 22日(火) 7・8年ワックスがけ(～23日)、アメリカとの交流(8年生)
- 23日(水) 1～6年ワックスがけ
- 25日(木) 修了式・離任式
- 26日(土) CS・PTA校内美化作業



進路事務に関する日程・入試当日の携行品等については、進路通信等でもご確認ください。



ワックスがけは体操服で行います。
ゴム手袋があると便利です。



9年生の皆さんへ～義務教育課程卒業を前に

9年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言発令に伴う行事の削減と縮小、夏季休業の短縮など、この2年間は皆さんの思い描いた中学生生活ではなかったかもしれません。これまでに身に付けた力を十分に発揮する場がなく、今年度も最上級生として複雑な思いもあったはずですが、このような見通しの持ちにくい状況下、コロナ禍の間隙を縫うように行なったHappy+の「野菜市」は、CraleとLinkSを繋いだ重要な役割を果たしたと捉えています。地域行事もなくなり、途切れかけていた地域の皆様同士のつながりを築いて、少しでも幸せな時間を、という崇高な目的と、実行力は立派だったと思います。何も無いところからサービスという形をつくり出し、所謂「三方よし」の理念を実現するまでのプロセスや経験から学びえたこと(もの)を、これからの糧にしてください。さあ、4月から新しい学びの旅のスタートです。「未来をつかむ」旅立ちに、エールを送ります!



文部科学大臣表彰受賞の横断幕設置

キャリア教育優良校としての評価をいただきましたが、本校の教育実践の基盤はCSキャッチコピーの「地域の中に学校を、学校の中に地域を」をです。保護者・地域の皆様や企業支援チームの皆様のご支援、本当にありがとうございます。



啓蟄(3月5日)

啓蟄(けいちつ)は、二十四節気の第5番目にあたり今年3月5日。この日から、次の節気の春分(しゅんぶん・3月21日)前日までの期間も指します。大地が温まって、冬ごもりから目覚めた虫が、穴を開いて顔を出す頃です。ひと雨ごとに暖かくなり、日差しも春めいて、生き物が再び活動します。

